

ご自由に
お持ちください

生体腎移植を導入
患者さんに、より良い選択肢を。

泌尿器科 副部長

石田 寛明

HIROAKI ISHIDA

腎臓内科 部長

藤澤 一

HAJIME FUJISAWA



SPECIAL DIALOGUE

生体腎移植

泌尿器科 副部長

石田 寛明

HIROAKI ISHIDA

腎臓内科 部長

藤澤 一

HAJIME FUJISAWA

みなと赤十字病院では、2024年10月に第1例目となる「生体腎移植」を行いました。生体腎移植は、ご家族などの健康な方から腎臓をひとつ提供いただいて患者さんに移植し、腎臓の働きを取り戻す治療です。当院では大学病院をはじめ他の施設とも連携しながら、患者さんにご家族に寄り添い、安心して治療を受けていただける体制を整えています。

移植後は順調に回復、趣味も楽しめるように

石田医師

第1例目の患者さんは遺伝性の腎疾患をお持ちの60代の方で、実の妹さんから腎臓の提供を受けられました。術後の経過は非常に良好で、3週間で予定どおり退院されました。

感染や拒絶反応もなく、腎臓の働きも安定しています。

腎移植から10か月ほど経った今は、移植前よりも元気になる、趣味のバドミントンを楽しんでいらっやいます。

一人ひとりに合った治療方法の選択をサポート

石田医師

腎臓の働きが大きく低下して、自分の腎臓だけでは日常生活を送ることが難しくなった状態を「末期腎不全」といいます。このときに必要になる治療を「腎代替療法」と呼び、腎代替療法には透析(血液・腹膜)と腎移植があります。

透析を続ける方に比べて、腎移植を受けられた患者さんの方が体調が安定しやすく、元気に過ごせる傾向があります。

食事や水分の制限が少なくなり、時間的な負担も軽くなるので、旅行や趣味などを楽しみやすくなるでしょう。

ただし、移植後は免疫を抑える薬を飲み続ける必要があり、感染症予防やがん検診などの定期的なチェックが欠かせません。

とはいえ、それを補って余りある生活上のメリットを感じる方が多くいらっやいます。

例えば透析を受けている方が旅行をする場合、旅行先でも透析を受ける計画を立てなければならず、時間や費用の負担があります。腎移植であればこうした制限が少なくなり、自由に旅行を楽しめます。

また、透析中の妊娠・出産は非常に難しいとされていますが、腎移植後に腎臓の働きが安定すれば、妊娠や出産の可能性も広がります。

血液透析

血液を体の外に出し、
機械できれいにしてから
体に戻す方法

腹膜透析

お腹の中に透析液を入れ、
体の中で血液を
きれいにする方法

腎移植

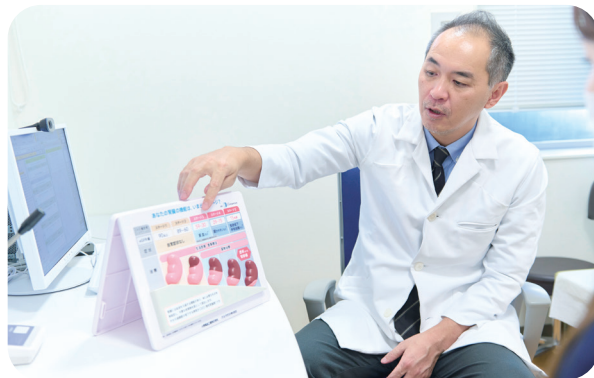
ご家族や提供者の腎臓を
移植して腎臓の働きを
取り戻す方法

藤澤医師

腎臓内科では「腎代替療法選択外来」という外来を設けています。ここでは、患者さんご自身やご家族が納得して治療法を選ぶように、DVDなどの資料を用いた説明や、希望があれば実際に治療を受けている患者さんのお話を聞ける機会もご用意しています。

腎機能が低下すると、体に老廃物や水分がたまり「尿毒症」と呼ばれる症状が出ます。食欲がなくなったり強いだるさが出たり、進行すると意識が低下することもあります。さらに水分の調整ができなくなり、むくみや肺に水がたまることもあります。

透析は命を守る大切な治療であり、透析がなかった時代を思えば大きな進歩です。ただし、生活には制限が多く、そのために腎移植を希望される方もいます。生体腎移植には身近な方からの協力が必要であり、献腎移植は提供数が限られているため、順番を待つ期間が長くなることがあります。



治療法について正しく理解し、自分に合った方法を選ぶことがとても大切です。私たちはその選択をしっかりサポートし、患者さんがより良い生活を送れるようお手伝いしていきます。

地域で腎移植治療を受けられる安心を

藤澤医師

私は東京科学大学の腎臓内科に入り、大学病院で腎移植に携わっていました。そこで透析を受けていた患者さんが腎移植後に尿が出て、元気に退院される姿を見てきました。

その経験から、みなと赤十字病院でも腎移植を受けられる体制をつくりたいと考えるようになり、石田先生のいらっしゃる横浜市立大学とも連携して準備を進めてきました。現在は、神奈川県内の東京科学大学関連病院とも協力し、地域で移植を希望する患者さんをしっかり受け入れられる体制を整えています。

石田医師

当院で腎移植ができるようになったことで、当院に通院中の患者さんが移植を希望された場合も、ほかの病院に移らずにそのまま手術まで進むことが可能になりました。地元の病院で移植前後を通じて診療が完結できるのは、大きな安心につながります。

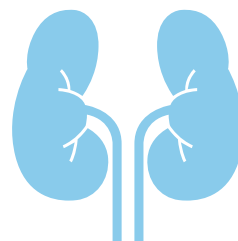
また腎移植を受けた患者さんは、免疫を抑える薬の影響で感

染症にかかるリスクがあります。発熱などの体調不良が起きたときも、当院は時間外の救急体制が整っているため、すぐに対応できるのも強みです。

これまで横浜市内で腎移植を行っていた病院は限られており、手術まで1年近く待たなければならないこともありました。その間に腎臓の働きが悪化し、透析を始めなければならないケースもあります。

当院が移植を行えるようになったことで、こうした待ち時間を減らし、患者さんの状態に合わせてより早く治療を届けられる可能性が広がっています。今後も大学病院や近隣病院と連携しながら、一人ひとりに適した治療を地域で提供していきます。

腎臓
Kidney



患者さんご家族に寄り添い、納得できる治療を提供するために

藤澤医師

腎臓内科では、患者さんが病気を正しく理解し、納得して治療法を選べるよう、わかりやすい説明を大切にしています。医療者が一方的に決めるのではなく、患者さんと一緒に話し合いながら、できるだけ病気の進行を抑えられる治療を考えていきたいと思っています。

石田医師

腎移植に至るまでの経緯は患者さんごとに違い、それぞれに背景やご家族の思いがあります。生体腎移植では、ご本人からご家族に腎臓の提供をお願いすることになりますが、その過程でご家族に大きな負担がかからないよう、十分に配慮して進めています。



また、患者さんやご家族の思いを医師だけで理解するのは難しいため、看護師も時間をかけてお話を伺うようにしています。必要に応じてご家族全員にお集まりいただき、丁寧に面会の時間をとって話し合うこともあります。関係者全員が納得してから治療に進めるよう、私たちは心を込めてサポートしてまいります。

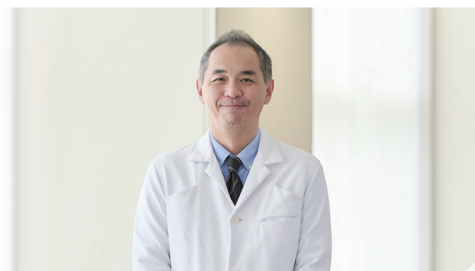
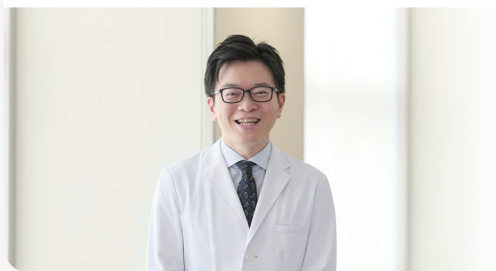
専門の経験を生かし、安心して選ばれる腎移植医療へ

石田医師

これまで私は横浜市立大学で3年間、東海大学で4年間、その後ふたび横浜市立大学で4年間、計11年間にわたり腎移植に携わってきました。その経験を生かし、みなと赤十字病院でも生体腎移植を行える体制を整えました。患者さん一人ひとりに丁寧に向き合い、安心して治療を受けていただけるよう努めてまいります。

藤澤医師

当院で初めて腎移植を受けられた方は、私が診療していた患者さんでした。今では元気に通院されていて、その姿を見るたびに腎移植の大きな意義を感じています。これからも、腎臓の働きが弱くなっても前向きに生活できる方を増やせるよう、患者さんに喜んでいただける医療を提供し、信頼される病院でありたいと思っています。



お問い合わせ

☎ 045-628-6100 (代表)

☎ 045-628-6101 (FAX)



<https://www.yokohama.jrc.or.jp/inquiry/>

発行：2025年10月